

慶應義塾大学学術情報リポジトリ  
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	執筆者紹介；第五十八巻第六号
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1985
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.58, No.7 (1985. 7)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19850728-0104">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19850728-0104</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

執筆者紹介 (掲載順)

向井 健	法学部助教授
片桐 庸夫	群馬県立女子 大学助教授
丸山 正次	法学研究科 研究生
近藤 龍司	名古屋商科大学 助教授
田中 ひとみ	法学研究科 博士課程
小池 順一	法学研究科 博士課程
国分 良成	法学部助教授
平 良	法学部教授

第五十八巻 第六号 目次

論 説

市民社会と社会主義  
—「革命的ロマン主義」との関連で—  
蔭 山 宏

太平洋問題調査会(I.P.R.)と移民問題(二)  
—第一回ハワイ会議を中心として—  
片 桐 庸 夫

資 料

大小社区分立法に関する改正意見(二)  
商 法 研 究 会

判例研究

〔商法〕 二五五  
商法一六六条の三の責任に關して、名目的代表取締役の監視義務違反と会社債権者の損害との間に相当因果關係がないとされた事例  
商 法 研 究 会

〔最高裁判事例研究〕 二二二  
民事訴訟法研究会

紹介と批評

曾根泰教 著  
『決定の政治経済学—その理論と実際—』  
辻 中 豊